

算数

〈現在の分析〉

知識・技能	思考・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査において正答率は、全国平均を大きく上回っている。 ・身に付けた知識・技能を活用することはできている。 ・はかりの目盛りを読むことは、全国平均を下回っている。1目盛りあたりの量の読み取りが不十分。 ・個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査において正答率は、全国平均を大きく上回っている。 ・学習した知識やデータを活用して考察し、関係を式や言葉で表現したり、その理由を考えたりする問題について課題が見られる。 ・短答式や記述式の問題で無回答率が高い。問題解決の見通しをもつことに課題がある。 ・個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールやコミュニケーション・ツールを活用し、考えをまとめ発表したり、話し合ったりする活動への意欲は高い。 ・自ら問いを見いだして、解決の見通しをもって主体的に追究していくことに課題が見られる。 ・ドリルやテストの結果から自己の課題を意識し、解決しようとする意識が不十分である。 ・問題場面の内容を図や表、グラフにして考えようと意欲的に取り組む取りむ児童がいる一方で、消極的な姿勢の児童もおり差が見られる。

〈重点課題〉

知識・技能	思考・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面を正しく読み取ること。 ・身に付けた知識や技能を活用すること。 ・計算についての基礎的・基本的な知識及び技能の定着。 ・データの読み取りや活用方法の習得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面や式を図や数直線、表等に整理して題意を捉えること。 ・数量や形、数量関係などに着目して見通しをもち、既習事項を活用して問題を解決すること。 ・グラフや表から読み取ったことを基に考察し、分かりやすく文で説明すること。 ・自分の考えを筋道立てて、分かりやすく表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の解決に粘り強く取り組もうとすること。 ・算数科で学んだことを新しい問題や他教科・領域等、生活で活用しようとする。

〈授業改善策〉

知識・技能	思考・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・児童のつまづきを的確に把握し、実態に応じて関連のある単元や学期末の復習等を意図的に設定する。 ・分かっていることと求めることを確認し、問題場面を図表や数直線などに整理する活動を設定する。 ・グラフや表、目盛りの読み取り方について繰り返し確認するとともに、他教科等でも学びを活用する場面を積極的に設ける。 ・数の仕組みや計算の仕方など、学習をしたことを自分の言葉で説明したり、まとめたりする活動を基本的に毎時間設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文を表した図表や数直線を活用しながら、これまで学んだことをどのように活用したらよいか、解決の見通しについて話し合う活動を設定する。その際、児童の実態に応じ、既習事項に立ち戻って学び直すなどの場を設ける。 ・自力解決においては、多様な視点から解決の方法を考え、式や図表等、効果的な方法で表現する活動を毎回設定する。その際、学びの状況に応じ、適切なヒントを提示したり、助言したりするなど指導の工夫をする。 ・自分の考えを伝えたり、よりよい考えを見出したりできるように、発問や形態の工夫や、ICT機器の活用等の手だてを工夫する。 ・複数のデータを比較・関連させて考察し表現する場面を意図的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正解・不正解に関わらず、最後まで諦めずに問題に取り組もうとする態度を価値付ける。 ・児童と教師が共にめあてや課題を設定し、主体的で問題解決的な学習の充実を図る。 ・他教科・領域等や生活との関連を深め、学んだことを活用する場面を意図的につくる。 ・1人1台端末等を活用し、個々の学習状況や関心に応じて、問題や問題数、考えるヒントや視点などを選択する場面を意図的に設定し、一人ひとりが主体的に取り組めるようにする。